

建築ITコミュニケーションデザイン論

#1 はじめに、講師紹介

本江正茂

2012-04-11 (水)

担当教員 本江正茂

一般連絡用：motoe@archi.tohoku.ac.jp

レポート提出用：motoe2+aitcd@gmail.com

<http://www.motoelab.com/>

http://twitter.com/masashige_motoe

#aitcd

年次・学期 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻博士課程前期

水曜3限 (13:00~14:30)

片平南キャンパス 通研2号館4階 430教室

講義の趣旨

建築とITコミュニケーションを統合的なひとつのデザインの問題として考える。

オフィス、学校、図書館などの建築空間の多くは、その内部で情報の授受を行うことが主要な役割であった。しかし、近年の情報技術の革新によって、建築空間と情報の関係は大きく変化した。これからの空間と情報のデザインを考えていくためには、両者の相互作用を根本的に見直す必要がある。両者は別々の分野ではなく、そのデザインにあたっては総合的に検討されなければならない。この講義では、テクノロジーのみならず、社会学、芸術、哲学、認知科学などの分野にも視野を広げ、空間と情報にかかわる諸理論と事例を展望する。

受講に当たっては、必ずしも予備知識は必要ない。履修後は、空間と情報の相互作用に関する常識的知識の一端を獲得することによって、両者を見渡した地点から、新たな問題を考えはじめられるようになることが期待される。

2012年度のスケジュール

- 4月11日 はじめに、教員紹介
- 4月18日 データの表象
- 4月25日 空間の表象
- 5月2日 休講
- 5月9日 身体と空間 その1 視覚
- 5月16日 身体と空間 その2 意味や価値は世界のどこにあるか？
- 5月23日 速度とスケール
- 5月30日 情報の反意語は何か？
- 6月6日 情報化社会という神話
- 6月13日 情報と都市、時間と空間の再編成
- 6月20日 建築とアーキテクチャ
- 6月27日 休講 (都市建築設計I対応)
- 7月4日 デザインとメディア：図面、模型、BIM
- 7月11日 デザインとプロセス：設計方法論、プロジェクト
- 7月18日 デザインとワークプレイス
- 7月25日 建築とコンピュータ

評価方法

期末レポートを評価の主材料とする。

すぐれたレポート等はウェブサイト等で公開することがある。

教科書・参考書・リンク

教科書は特に指定しない。

授業では、原則として毎回ハンドアウトを配布する。ハンドアウトは各回授業終了後にウェブサイトにご置くので、欠席した場合などはダウンロードすること。研究室に取りに来てでも予備はない。

講義内容に関する疑問、質問、感想、意見など、随時下記のメールで受け付ける。

motoe@archi.tohoku.ac.jp

参考文献：各講義でトピックにふさわしい参考文献を指示する。以下に一例。

ウィリアム・J・ミッチェル『シティ・オブ・ビット：情報革命は都市・建築をどうかえるか』掛井秀一＋田島則行＋仲隆介＋本江正茂 訳、彰国社、1996

港千尋『第三の眼：デジタル時代の想像力』廣済堂、廣済堂ライブラリー002、2001

鈴木明『インタラクションデザインノート』神戸芸術工科大学大学院,2003

原研哉『デザインのデザイン』岩波書店、2003

阿部仁史、小野田泰明、本江正茂、堀口徹『プロジェクト・ブック』彰国社、2005

『Apple Human Interface Guidelines: The Apple Desktop Interface (日本語版)』トッパン、1989

江渡浩一郎『パターン、Wiki、XP』技術評論社、2009

ヒューバート・ドレイファス『インターネットについて：哲学的考察』産業図書、2002

マイケル・ベネディクト編『サイバースペース』NTT出版、1994

本日の課題：

この科目を履修するにあたって、何を学ぶことを期待しているか、200字～800字程度で書き、次回の講義までに電子メールで送ってください。忘れないうちに書きましょう。本文中に氏名と学籍番号を明記すること。宛先：motoe2+aitcd@gmail.com

以上